

講義科目 : 福祉心理基礎演習	単位数 : 2
担当 : 北村 香織	学習形態 : 選択科目
	実務経験 : 有
	* 第1学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

この演習は、各自が関心のあるテーマを見つけること及び社会福祉学研究方法の基礎を体得することを目標とする。具体的には、各自で関心のあるテーマについて、レジュメなどを用いながらグループ報告・個人報告を行い、ゼミ内で討議するという形を基本とする。そして、二年次で取り組む卒業論文に向けて、研究課題を明確にしていくことを目指す。

また、基礎的な文章力を身につけていくこと、ゼミ内の討議を通して、意見の述べ方、聞き方について体得することを目指す。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（自己紹介・ゼミの進め方の確認・学生生活について 等）
- 第2回 研究とは何か？研究対象とは？
- 第3回 各自関心テーマの検討
- 第4回 グループ報告1（レジュメの書き方に着目。聞きやすい資料とは？）
- 第5回 グループ報告2（報告の仕方に着目。聞き取りやすい話し方とは？）
- 第6回 グループ報告3（見やすい資料提示方法をいくつか考察）
- 第7回 グループ報告4（文献や資料の使い方を考察）
- 第8回 第1-4報告の反省とふりかえり及び以降の報告について討議
- 第9回 グループ報告5（相手が話しやすい環境づくりに着目）
- 第10回 グループ報告6（テーマ設定の仕方について考察）
- 第11回 グループ報告7（討論方法に着目）
- 第12回 グループ報告8（具体的問題と理論を結びつける方法について考える）
- 第13回 第5-8報告の反省とふりかえり及び以降の報告について討議
- 第14回 ゼミ内で選んだテーマについてディベート
- 第15回 ゼミ内で選んだ文献講読と来年度にむけてのまとめ

グループ報告は、それぞれの関心従いテーマを決め、そのテーマについて調べ、研究を深めます。2年時からは個人報告ができるようになる為に、まずは他者と討論しながら1つの事象について考える力を養います。報告時、報告者はレジュメを作成し、その後皆で討論をします。

※なお、毎回当番を決めて自分の関心のある新聞記事や出来事について紹介する時間を設けます。

教材・テキスト・参考文献等

特に使用しない。参考文献は適宜提示。

成績評価方法

出席、報告内容、ゼミへの参加度などを総合的に評価する。（出席は重視）

実務経験

障害者支援施設で勤務していたことがあります。実務経験を活かし、討論時には、社会福祉サービス利用者、家族、職員、それぞれの立場からの視点を提示できたらと考えています。

その他

演習は、受講者が中心となって創りあげていくものです。自分が考えていることをまとめる、話す、書く、人の話を聞く、ということを練習できる場ですので、積極的な参加を望みます。また、問題意識を深めるとともに、短大生活での仲間をつくる場になればと考えています。楽しく、みんなで自分たちのゼミを創っていきましょう。